ウクライナの友人たちを支援

侵攻から1年 心ひとつに平和コンサート開催

ロシアによるウクライナ侵攻から1年を迎えた2月24日、いまだ先行きの不透明なまま、過酷な戦いが続く友人たちを支援するための平和コンサートが八尾市文化会館プリズムホール・小ホール（八尾市光町2）で開催された。

このコンサートは八尾市を中心に世界中に拠点を置く日本ウクライナ文化交流協会（小バ・ハダシ野元裕会長）が主催。立ち見を含めた300人以上が見守るなか、ボーカリストのOno Akiさんらが、戦闘や人権蹂躙によって喪失したかけがえのない生命への鎮魂歌、1日も早い平和の日々を希求する祈りを込めたオリジナル曲などを披露したほか、西ウクライナから母親と避難してきたU和への祈りを込めたコンサート。対談では小野会長が現地のNGOドブロダーリ理事長アンドリー・ブチネフ氏と電話を繋いだ。キーウ大学と長年にわたり交流を続ける天理大学の日野貴夫准教授は避難学シンガーソングライターでモデルのNASプロチコさんが母国の平和とウクライナの音楽大学で学ぶ夢を乗せて民族楽器バンドゥーラを奏でた。

バンドゥーラを演奏するアナスタシアさん

熱唱するOno Akiさん

ウクライナを思い歌うNASUさん（左）とエバ・ハダシさん

参加者、スタッフ、秩序への挑戦であり、ウクライナが負ければ世界大戦に繋がる」と警鐘を鳴らした。

メディアや避難民を通じて伝わるウクライナの惨状は、国籍を越えた支援の輪となり広がっている。

昨年12月1日には東京都豊島区の東京芸術劇場コンサートホールで、学生時代からザルツブルク音楽祭に出演するなど世界的に活躍する韓国のオペラ歌手スミ・ジョーさんらによる「Life&Sound Concert Peace in UKRAINE」が開催され、国籍を越えたソプラノ、テノール、バリトンが観衆を魅了。ウクライナ人のテチアナ・ラヴロワさん、ヤーナ・ラヴロワさんがチェロの弦に乗せて母国への思いを奏でた。

このコンサートは、「生命への畏敬」をテーマに持続可能な世の中を創造するためあらゆる問題を横断的に支援するMETイノベーション国際推進機構、SDGs実現を目指す研究者や起業家を支援する株式会社ユニファイジャパンなどが後援。

MET事務局長で国連世界平和協会（UNWPA）人権大使を務める萩原国博氏は「世界情勢が不安定ななかで、多国籍の素晴らしい人びとが思いをひとつにつくりあげたことに大きな意義を感じる。今後も世界平和に向けた取り組みを推進していきたい」と語った。（池内文蔵）

国籍を越えた支援の輪

発行所
株式会社 東大阪新聞社
第7058号
〒577-0802
東大阪市小阪本町1-1-7
エフエスビル２F
TEL 06-6720-4601
FAX 06-6720-4603

八尾柏原支社
〒581-0013
八尾市山本町南6-2-29
TEL 072-926-5134
FAX 072-921-6893

東大阪・八尾
柏原の地域紙
購読ご希望の方はお気軽にお電話下さい

おかげさまで90年
東大阪新聞は令和4年に
創刊90年を迎えました

風を読む 51

2023年 世界の動き

大阪商業大学総合経営学部教授
経済学博士 中津孝司

できなくなったことを受け入れる

網膜剥離と脳梗塞で入院生活を余儀なくされた経験がある。

研究室でPCに向かって原稿を執筆していたときに突然、右目内で上から下に何かが流れたように感じた。鏡で確認しても変化はなかった。だが、異常な違和感は解消されない。その日の夜には京都で仕事が入っていたので、眼科に行くことができなかった。翌朝になっても、違和感は残ったまま。仕方なく、近所の眼科に行くと、診断結果は網膜剥離。その翌日、紹介状を持参して兵庫医科大学に向かった。すると、「即入院せよ」とのこと。入院の事態を想定していなかったので、慌てだった。眼が不自由な人の気持ちを痛感できた。

怖かったのは手術と思うと同時に、開業前、失明する可能性を医ではなく規模の大きな病院が相応しいと判断した。

これは尋常ではないと告げられた。

急性期対応の病室で入院生活を送ることになった。翌週の火曜日に再検査を終えた結果、麻痺は進行する」ット番組にも病室から電話で出演した。ただ、収録が終わると口がカラカラに渇いた。日常を取り戻すことは容易でなかった。リハビリ入院も含めて40日ほどで退院した。

ただ、病院内でのリハビリと街中を歩くことには大きな差があった。前方から人がやってくると怖さを感じた。横断歩道も怖かった。小走りもできない。退院後の診察で「小走りができない」と主治医に伝えると、「小走りなんかできなくてもええやん、歩いたらええねん」との返事。この一言で気が楽になった。できなくなったことを受け入れる。これが入院生活の教訓となっている。幸い、後遺症は軽微で不自由のない日常生活を再び送ることができるようになった。

困ったのは緊急入院だったため、仕事関係の各方面に当面、業務はできないことを電話連絡する作業だった。数日後、手術は完了。右目を眼帯で覆われる生活は不自由だった。

入院した。

術後の痛みはまったくなく、食欲も旺盛。10日ほどで退院できた。

6年ほど前のこと、忘れもしない12月第3週の金曜日。起床するとなぜか右腕が重い。ベッドが準備されていたので、リハビリに注力した。字を書く練習もした。PCにも入力できるようになってからは原稿執筆も再開した。ラジオ番組やネットで対応した。左目だけでゲラを読むのは苦痛で一時帰宅し、準備後、

怖もあった。だが、案ずるより産むが易し。

谷町4丁目にある大阪医療センターに勤務していることを思い出し、思い切って電話連絡した。

来客対応のなか、インタビューに答えてくれた稲葉圭太専務（49）は「映画CMや

お風呂ポーズで認知度UP！ 住まいのエキスパート

株式会社 MIMA 東大阪店１周年

よく目立つ黄色の看板

2月25日、26日の両日にわたって開かれたお客様感謝祭では、大手住宅設備メーカーの車両による水まわりの実物展示や、リフォーム相談者を対象に高級国産和牛を始めとした豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会が行われ、土日ということもあって、多くの家族連れで賑わった。

駐車場に設えられたバスリフォームコーナーでは、MOVIX八尾で「映画本編よりも人気」と噂されるCMの「中の人」・美馬功之介社長（54）が子どもたちのリクエストに応え共に入浴。

子どもとポーズを作る美馬功之介社長（左）

折り込みチラシなどで認知度も上がり、リフォームで悩んでおられるお客様が気軽にご来店いただけるようになった。コロナ禍でなかなかイベントが開けなかったが、今後は来店型イベントに加え、地域のイベントにも積極的に出店していきたい」と語った。

この日のイベントには今年度新卒採用となった新入社員らも参加。十数年後にはイベントで共に入浴し「お風呂ポーズ」で記念撮影したちびっ子たちが〝幸福の黄色い店〟を担っているに違いない。（池内文蔵）

稲葉圭太専務（左）と布尾義人店長

晴耕雨読

準備8割、実行2割

冬ごもりの虫がはいだしてきた。陽気に誘われて活発になるのは人も同じだ。3月6日、第5回ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）の強化試合で放った大谷翔平選手の2打席連続3ランで京セラドームは大歓声の波動で揺れた。くしくも啓蟄の日だった。

長いマスク生活で「目は口ほどに物を言う」に慣れた。口は人をだますが、目は嘘をつかない。

2月、バイデン米大統領は突然、空襲警報の響くウクライナ・キーウの街をゼレンスキー大統領と肩を並べて歩いた。リーダーは激動の中で、部下への信頼と果断な行動のもとで決断を強いられる。そのために、まず足を運んで、実際に何が起きているかを直接発見しようと努める。ウクライナ侵略で国連の期待される機能が十分に発揮できていないなか、主要7カ国首脳会議（G7）が頼りになった。議長国・岸田文雄首相はゼレンスキー烏大統領からウクライナ訪問を招請されており、いまだ検討中だ。現地の戦場特有の空気やにおい、土壌、人の息づかいなどを自身の五感でつかむことは最大の事前準備である。「準備8割、実行2割」だ。「現場音痴のリーダーに誰が同情や同調をするのかと陰口が聞こえる。

インドが議長国の20カ国・地域（G20）外相会合に、林外相は数分の国会質疑のために欠席した。結束の強靭化を急がねばならない日米豪印（クアッド）やこれからの「グローバルサウス（南半球を中心とする途上国）」にも影響力を持つインドだけに、この外交判断は国益を損なう。

世界観のない首相や外務大臣と国会の劣化も甚だしい。岸田首相はモディ首相との首脳会談のため訪印するが、その帰途にでも自分の判断でこう言えばよい。「北北西に進路をとれ」と。

2023・3・15

店内でも野外でも使えるサーバスタンド

ふみ酒完成

東大阪に本社を構える株式会社アイズファクトリー（岩本栄吉社長）が「ふみ酒」を完成させ、2月27日から販売が始まった。

コロナで飲食業界は人手不足という大きな問題に直面している。大手チェーン店はロボット配膳やセルフドリンクサービスを進めている。このような状況で、無機質なサービスに味気なさを感じている人は少なくない。コミュニケーションツールが求められるなか、誕生したのが「ふみ酒」だ。

足で踏むと、かわいい音声（録音）と華やかな光（LED）を発しながら一定量のドリンクが出る。楽しくあたたかい雰囲気が広がる。しかも非接触なので、衛生的にも安心。店内でも野外でも使えるサーバースタンドだ。詰め替えれば、焼酎やウイスキーなどミュニケーションツールが求められるなか、誕生したのが「ふみ酒」だ。

「ふみ酒」はスチール製（ブラック）で、7万6,780円（税込み）。木目調塗装すると別途3,300円（税込み）かかる。

株式会社アイズファクトリー

社長　岩本栄吉
東大阪市柏田西2-3-22
TEL 06-6224-1166

COBO
COBO DESIGN CO.,LTD.
!! デザインのチカラ
株式会社 コ ボ
〒466-0855 名古屋市昭和区川名本町 2-58-4
TEL：052-763-7166　http://www.cobodesign.co.jp

本は著者の分身
記憶は一代、記録は末代
自分史・社史
「著者と編集者が二人三脚で本作りを」をモットーに親身になって本作りをします。
お気軽にお電話下さい。
株式会社ドニエプル出版
TEL 072-926-5134

ゲームシナリオ入門
基礎知識から設定・キャラクター・プロット・テキストの技法まで
北岡雄一朗 著
2,728円（税込み）
ISBN 978-4-297-11220-4
株式会社 技術評論社
東京都新宿区市谷左内町21-13
☎03-3513-6150
https://gihyo.jp/book

株式会社 カナオカ機材
代表取締役社長 七里和昭
〒577-0033
東大阪市御厨東二丁目一一一
電話（〇六）六七八七一四四〇

ゴルフシミュレーションスタジオ
フリアード 室内ゴルフ練習場
◆365日利用可能（午前5時～午後12時）
◆ハリウッド映画のクオリティ映像
◆世界170以上の有名ゴルフコース
◆予約・決済・施錠までスマホ1台で完結
株式会社藤原電子工業ゴルフ事業部
八尾市南木ノ本2-52
TEL 072-991-3927

明るい・楽しい・アットホームな教習所
運転免許取るならYAOKYOで！
八尾自動車教習所
八尾市高安町南七丁目二十一番地
☎（072）999-1234
HP：http://www.yaokyo.net/

まかして安心・安全
高圧電気設備の保守点検は
大阪電気保安協同組合
八尾市太田3丁目217-11
TEL 072-949-3125
TEL 080-3809-7065
（担当：大澤）

紅色の陽
キーウ俳句クラブ・ウクライナ戦争中の俳句
ガリーナ・シェフツォバ 編訳
キーウ俳句クラブのメンバー13人が戦時下に詠んだ俳句をまとめて一冊に。ロシアによるキーウ侵攻から1年目の2023年2月24日に出版。
ウクライナ軍の軍旗にちなみ、書名を「紅色の陽」とした。
編訳者はキーウ国立建設建築大学教授。

ウクライナ・ブックレット6
発行：ドニエプル出版
発売：新風書房
定価：550円（税込み）
A５判 31頁並製本　978-4-88269-928-6
ドニエプル出版（TEL 072-926-5134）

避難階段の決定版　簡易設置式くさり階段
逃げるんだ・登るんだ
平成27年度大阪府　中小企業新商品購入制度の認定商品
津波による人的被害をゼロにしたい

NPO法人 災害避難研究所
（理事長 松茂良興治）
〒578-0932　東大阪市玉串町東2-5-39
TEL 072-925-3450　FAX 072-922-9653
MOB 090-1020-2682

馬肉専門店
桜家
お子さん女性にも人気
美容と健康に最高
馬刺し・焼き肉・すき焼き・ハリハリ鍋
東大阪市長堂1-3-6
近鉄布施駅から北へ徒歩1分
TEL 06-7651-0827

西ウクライナ避難所作りのための寄付のお願い
ロシアによるウクライナ侵攻で多くのウクライナ人が国内外で避難を余儀なくされています。しかしながら、戦争が長引き、さまざまな理由により国外に避難したウクライナ人が次々と母国へ帰っています。
そこで、当協会では、現地のNGOドブロダーリと協力し、比較的安全な西ウクライナに避難所を作ることにしました。
つきましては、寄付を募っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。
日本ウクライナ文化交流協会
TEL 072-926-5134
銀行口座 三井住友銀行・八尾支店
（普）2012746　名義：日本ウクライナ文化交流協会

お陰様で50周年
総合建設業・一級建築士事務所
日和建設株式会社
八尾市安中町８－５－38
TEL 072－999－3871
FAX 072－999－3874

ウクライナのアイデンティティ
ウクライナ避難民に「情報」伝える
毎月第１・３土曜日の19時30分（再放送は第２・４水曜日14時）
インターネットでも聞けます
https://www.jcbasimul.com
提供：日本ウクライナ文化交流協会
FMちゃお（79.2MHz）

今更ながら 古道暗越奈良街道を歩く

東大阪の生活文化の歴史を探る旅

霧山文三郎（作家・歴史研究家）

第12回（最終回）暗峠から奈良県側へ

暗峠と彫った石碑を見ながら、有料ドライブウェイの下を潜ると、奈良県側に入って憩場所だ。店を出ると、すぐ左手に「本陣跡」の石碑があり、更に行くと左手に「西畑町入り口」のバス停があった。

後は近鉄南生駒駅まで、石仏などを探しながら下って行くだけだ。実は街道は途中から再び細くなり、南生駒駅南側の踏切を渡って、途中の一部だけ開発された住宅地を通り抜けるが、矢田山にさえ入れば再び昔のままの古道を富雄川まで歩くことができる。

しかし、今回はそちらには行かず、街道歩きをこの辺りで終え、竜田川に添う国道168号線に出たところで、国道をひと駅北へと歩こう。近鉄生駒線の一分駅を過ぎて、道標に従って、左に曲がると往馬大社に出る。大神神社、石上神宮と同様、神奈備山を御神体と祀る日本有数の古社である。今日では10月の火祭りでよく知られる。知る人ぞ知る由緒ある大社である所以は、境内に植わる1本の上溝桜の古木にある。天皇が即位される大嘗祭の「斎田点定の儀」（亀トの儀式）のなかで亀の甲羅を焼くのにこの大社の桜の枝を使うと、昔から定められているのである。ここからは一分駅から帰ることになる。

西畑の棚田を振り返る

往馬大社拝殿と神殿．

これを以て「今更ながら古道暗越奈良街道を歩く」を終結する。JR玉造駅から出発し、昔「猪飼野」と呼ばれた地区に入った。なぜ戦後、朝鮮半島人のこの地での永住が許されたのか、その歴史的事情も学んできた。

今更ながらの古道歩き、と思いきや、古道にまつわる歴史を学ぶことで、この国の中の「大阪府東部」の位置づけや、今に繋がる地域特有の問題点を再認識されたのなら、筆者としては望外の喜びである。

次に近世の「伊勢講」という狂信的な大衆移動に触れ、深江地区でそれに使う菅笠作りが盛んだったこと、また、この地の鋳物は近代になって芸術の極致まで高められたこと、次に江戸初期の「大和川の付け替え」に触れ、それが因となって東大阪が河内木綿の大生産地になるものの、やがて大阪の金融資本の傘下に組み入れられ、大阪をして世界の冠たる繊維産業都市に押し上げた経緯を学んできた。

今更ながらの古道歩きに

連載小説　其ノ参

悪党の風貌

2031 楠木正成 挙兵700年

作　池内文藏

題字　大東守

岩湧山の登山口を示す樫の木に馬を繋ぎ、瀧覚と多聞丸たちは枝道の坂の上に建つ庵の門をくぐった。門前で待とうとする雉丸に瀧覚が「入れ」と目で告げる。庭を掃いていた土地の娘が箒を持ったまま、来客を告げに駆け込むと、ほどなくして立烏帽子に直垂姿の男が白猫を抱いて現れ、猫を庭に放し三人を書院へと誘った。庵のなかは書院と猫の額ほどの厨があるのみである。多聞丸が名乗り、続けて雉丸を紹介した。二人の若者を涼やかに見つめる男に瀧覚が、

「お初にお目に掛かる、大江どの」

と告げると、

「毛利時親でござるよ、和田どの」

と返し、お互い笑みを交わす。

「和田」に「大江」…。多聞丸は、幼少の頃に祖父が寝物語に語ってくれた幕府草創の物語を思い出した。

「和田」とは、八幡太郎義家の時代から源氏に仕える坂東平氏・三浦の一族の庶流・杉本義宗の嫡男・和田小太郎義盛に始まる家系で、義盛は治承四年（一一八〇年）の源頼朝挙兵に呼応して三浦半島の衣笠城から一族の先陣を切って出陣。途中酒匂川の増水に阻まれたことにより、石橋山で孤立した頼朝軍は、その中枢である北条氏の惣領・三郎宗時を失うという致命傷を負い真鶴から海路味方の安西氏が護る安房国を目指す。平家方の大将・大庭景親は、三浦党を殲滅するべく旗下の畠山重忠率いる秩父党を衣笠に派遣。三浦一族の長・齢八十九歳の三浦大介義明は、嫡男の三浦次郎義澄、その子平六義村、そして小太郎義盛らに三浦水軍を以って海上の頼朝を救出するよう命じ、

―老いて源氏再興の機にめぐりあえた。この一命を武衛（頼朝）に捧げ、末代の手柄とせん―とひとり城に籠り、外孫に当たる重忠の兵と刃を交え討ち死にした。祖父の命懸けの奮戦により相模湾上で頼朝救出に成功した義盛は、その場で

―源氏再興の暁には、我を侍大将に―と願い出た。頼朝は快諾し、その後房総半島で息を吹き返し、上総氏・千葉氏などの大軍勢を率いて父祖の地・鎌倉に入った頼朝は、かれを軍司令官に相当する「侍所別当」に就けた。

「大江」とは、鎌倉に入った頼朝が打倒平家のための地固めを行うにあたり、京から呼び寄せた下級官僚の一人大江広元で、幕府樹立以降は首相に相当する「政所別当」に就任。その広元の四男・季光が相模国毛利荘（現在の厚木市）を相続し、戦国大名・毛利氏の祖となる。つまり幕府草創の「首相」「軍司令官」の末裔が、鎌倉から遠く離れた奥河内の小さな庵で向かい合っている。

瀧覚同様、時親もまた多聞丸の父・楠木正遠の誘いでこの地に来た。瀧覚と違うのは、かれが閑職ながら京都における幕府の出先機関である六波羅探題の役人であり、常は都にいて、探題職（北方と南方があり、北が上席）として赴任する北条一門の相談役のような役目を持ち、この庵は別荘であった。四月のうちひと月は、淀の津から楠木の商船団に乗り、この地で静養する。

「右衛門尉（正遠）どのは、どうしておられるかの」との時親の問いに、

「葛西ケ谷の件が鎮まるまで三河・遠江あたりで待機させられていたそうな、南方どの（金沢流・北条貞顕）からはなにか」

「〝懸念無用〟との文が昨日届いたが、筆跡が乱れておる。頭は良いが肝が小さい」

と、時親が失笑気味に答える。

「葛西ケ谷の件」とは、この四月に起きた前執権・北条貞時邸の失火に端を発する。四年前、持病と「ハレー彗星飛来」による凶兆を理由に執権職を従弟にあたる北条師時に譲った貞時だったが、義時以来の北条家嫡流である「得宗」として影響力を持ち続け、師時は自らの嫡男・高時が成人するまでの〝中継ぎ〟という立場だった。傀儡の皇族将軍を戴く鎌倉幕府は執権職をも傀儡化した。その得宗の下で力を得たのが身内人である「得宗家被官」と呼ばれる者たちで、その首領である「内管領」として権勢を振るった貞時の傅役・平頼綱は、幕府草創以来の御家人・安達氏を滅ぼし、事実上の最高権力者として恐怖政治を執行した。やがて成人した貞時が、増長する身内人を分裂させることによってかつての傅役を殺し、内管領の地位に師時とおなじく従弟で、父・時宗の猶子となっていた宗方を就けた。貞時としては身内人の筆頭に義兄弟を就けることで「得宗専制政治」を安定させたかったのだが、執権の座を欲した宗方は貞時邸の失火を次長に相当する連署・北条時村の犯行に仕立て上げ、失火の翌日深夜「太守（貞時）の命」を以って葛西ケ谷の時村邸を襲撃し時村以下五十余名を殺害した。以上が後に「嘉元の乱」と称される北条一族の内乱の経緯であるが、翌五月には北条庶流の大仏宗宣によって宗方らは討ち取られる。

「相も変わらず血なまぐさい都じゃ、のう和田どの」

瀧覚の高祖父義盛は、侍所別当として治承寿永の乱（源平合戦）を戦い、頼朝亡き後はまだ若い二代将軍・頼家を支える「十三人の合議制」の一人として、その実弟三代将軍・実朝の代まで忠義を貫いたが、幕府の軍事掌握を目論む二代執権・義時の策謀によって叛乱者に仕立て上げられ、鎌倉市街地を火の海にするほどの激戦の末、同じ一族の三浦義村の裏切りによって一族のほとんどが討ち取られた。

大江氏は、広元の嫡男・親広が「承久の乱」で後鳥羽上皇に付いた咎で流罪となるが、この戦いで幕府軍の先陣として宇治川を突破した四男・毛利季光が評定衆など重職を歴任。一族が各地の地頭職として勢力を拡大するなか、季光自身は妻の兄である三浦泰村（義村嫡男）と五代執権・時頼（義時曽孫）が対峙した「宝治合戦」で三浦に付き、最期はかれらとともに頼朝墓所である法華堂に籠り自刃した。

振り向くと脚の痺れを我慢しながら二人の対話に傾聴する雉丸の向こうで、相反するかのように寝転がって書見する多聞丸がいる。

表題は―闘戦経―

「持って帰って読まれよ」とすすめる時親に、

「ここに来て読む」と返す多聞丸。

岩湧山の麓が緋に染まりはじめている。

次々号（4月15日付）につづく

書楽読楽帳

夢野悠人

45

S.スマイルズ著「自助論」三笠書房、1985年刊

「おもしろきこともなき世をおもしろく」を遺した幕末の志士・高杉晋作（1839年～1867年）が1862年（文久2年）に長崎の崇福寺を訪問しています。そのころ、西郷隆盛は沖永良部島で座敷牢生活の最中です。

1859年（安政6年）に長崎・横浜・函館の港が開かれ、欧米列強の知識とともに聖書の真理を伝える宣教師もやって来ました。

高杉晋作の話し相手はアメリカの宣教師ギドー・フルベッキです。禁教下にあるなか、英語を習いたい、西欧の知識を得たいと頼ってくる多くの志士たちの教師でした。

高杉はアメリカの南北戦争や中国・清で起きた大規模な反乱「太平天国の乱」（1851年）などについて訊ねています。

「太平天国の乱」が洪秀全（宗教家・革命家）メリカの宣教本部に報告しています（フルベッキキリスト教系の宗教団体が起こしたことを書簡集）。

西郷の創作でない〝敬天愛人〟

書を上海から取り寄せ方、行動様式、文献などをあらゆる手立てで入手し、国のかじ取りの判断を誤らないようにする責任があったのです。

さて、本題の〝敬天愛人〟という言葉は西郷隆盛の創作ではありません。2つの説を守り、何より誤算はプーチンがバラバラと見ていた民意が、侵攻によって逆に団結を強めたことである。著者によると、侵攻は「真のウクライナ国家の誕生を手助けすることになっている」という。八岐大蛇が1つの頭になった。

第4はゼレンスキー大統領の評価である。2019年の大統領選挙の際に、著者は彼の地元クルィヴィーイ・リーフを訪ねている。政治経験のないコメディアン上がりの彼はどんな男なのか。父はユダヤ人大学の数学教授で母がエンジニアというインテリ一家の出身であり、ロシア語話者でユダヤ系である。恩師の1人は「彼にはファシズムと反ユダヤ主義を政治利用しないようにと忠告したことがある」という。プーチンはウクライナ政府はネオナチだと攻撃したが、ゼレンスキーはこのような根拠のない攻撃にきちんと反撃できる素地を持っていたのだ。

ウクライナは汚職大国と呼ばれる。その際に政治家とオリガルヒと呼ばれる新興財閥との絡みが汚職の温床の1つとなってきたといえる。ゼレンスキーはどうなのか。著者は、彼がイーホル・コロモイスキーというウクライナ有数の資産家との繋がりがあることを示唆しているが、関係は定かではない。

私見だが、彼が先頭に立ってこの戦いを陣頭指揮していることがどれほど国民の士気を高めていることかと思う。

ロシア軍がキーウに迫ったとき、大統領府を一時期疎開させてはという意見があったというが、彼は一歩も退かなかった。

1日も早く平和が到来して、復興、改革と再建のためにリーダーシップを発揮してもらいたいと切に願う。

その書簡には部喜雅著「西郷隆盛と聖書」（フォレストブックス）から引きます―。

〈「敬天愛人」のことばが歴史上に現れたのは、18世紀の中国・清の時代に遡ります。（中略）当時、清の康熙帝（1661年～1722年）がイエズス会の教会堂に飾る額に「敬天愛人」の文字を刻し贈呈したのです〉

2つ目は、〈明治になり、英国留学から帰国した中村正直（1832年～1891年）が、英国の牧師で思想家のサムエル・スマイルズの「自助論」を翻訳し「西国立志編」として出版した本の中で…キリスト教精神を要約した言葉として「敬天愛人」を使いました〉

何よりの誤算はプーチンがバラバラと見ていた民意が、侵攻によって逆に団結を強めたことである。著者によると、侵攻は「真のウクライナ国家の誕生を手助けすることになっている」という。八岐大蛇が1つの頭になった。

第4はゼレンスキー大統領の評価である。2019年の大統領選挙の際に、著者は彼の地元クルィヴィーイ・リーフを訪ねている。政治経験のないコメディアン上がりの彼はどんな男なのか。父はユダヤ人大学の数学教授で母がエンジニアというインテリ一家の出身であり、ロシア語話者でユダヤ系である。恩師の1人は「彼にはファシズムと反ユダヤ主義を政治利用しないようにと忠告したことがある」という。プーチンはウクライナ政府はネオナチだと攻撃したが、ゼレンスキーはこのような根拠のない攻撃にきちんと反撃できる素地を持っていたのだ。

ウクライナは汚職大国と呼ばれる。その際に政治家とオリガルヒと呼ばれる新興財閥との絡みが汚職の温床の1つとなってきたといえる。ゼレンスキーはどうなのか。著者は、彼がイーホル・コロモイスキーというウクライナ有数の資産家との繋がりがあることを示唆しているが、関係は定かではない。

私見だが、彼が先頭に立ってこの戦いを陣頭指揮していることがどれほど国民の士気を高めていることかと思う。

ロシア軍がキーウに迫ったとき、大統領府を一時期疎開させてはという意見があったというが、彼は一歩も退かなかった。

1日も早く平和が到来して、復興、改革と再建のためにリーダーシップを発揮してもらいたいと切に願う。

寄稿

大前仁記者の新刊「ウクライナ侵攻までの3000日」を読んで

レストランキエフ会長　加藤幹雄

毎日新聞出版
定価1,980円（税込み）

著者は毎日新聞の記者で、2008年～13年、2018年～20年の2回モスクワ特派員を歴任、今年の1月から3回目のモスクワ支局勤務をされている。

ロシアのウクライナ侵攻から1年を越えた。この本はロシアがクリミア半島を制圧・領有した2014年3月から、現在までの3000日の総括である。

柱は2つあって、著者が主として2019年にウクライナ各地を取材して、「クトゥーゾフの窓から」というコラムに掲載された部分と、この戦争はなぜ起こったのかを分析された部分である。我々に分かりにくいこの戦争の複雑な歴史と構造を理解するには格好の本である。

私がこの本から得た知見の幾つかを挙げさせていただきたい。

まず、ウクライナという国の多様性である。序章は2019年7月に東部ドネツク州のマイオルスク村という場所で偶然会った3人の60歳代の女性との会話から始まる。この地域ではもう5年間もウクライナ軍と親露派勢力との紛争が続いていた。「生活の状況は酷くなる一方だわ、毎日砲弾の音が聞こえてきて怖い」「プーチンは善政を敷いてきたと思うわ、私たちは自分の国の大統領にも同じように期待したいのよ」。

著者はこの話を聞いて、ウクライナ政府が統治している場所で、しかもロシアに支援される武装勢力から砲撃を受けながら、まだ親露感情を抱いていることに「キツネにつままれたような気持になった」という。

ウクライナは東西で大きな違いがある。ウクライナは日本神話の八岐大蛇みたいで、胴体こそ1つのウクライナという国だが、違う人たちに会うとそれぞれ別の頭が見えてくると著者はいう。

第2はクリミア半島が、この戦争で持つ意味である。帝政ロシアがクリミア半島を併合したのは18世紀後半である。このためには多くの血が流されて、この南への出口を確保したのだ。西端のセバストポリには海軍基地がある。1954年にフルシチョフが「兄弟愛と信頼の証」として、ウクライナ共和国に移管したのだ。当時はソ連国内の所管の変更に過ぎず問題にもならなかった。著者はこれは結果としてフルシチョフの仕掛けた「時限爆弾」となって2014年に爆破したのだという。ロシア側の準備は周到で、3月には住民投票で領有を宣言した。欧米からは批判が出たが大きな力にはならなかったし、大した制裁も課されなかった。これが2022年の侵攻の決断を促すことにもなった。今後停戦をして講和の条件を話し合う際にもロシアはクリミア半島は自国の領土と主張するだろう。ウクライナ側がクリミア半島への本格的な攻撃を始めたら、ロシアはエネルギー施設などロシア本国への攻撃と見做すだろう。

第3はプーチンの侵攻作戦のお粗末さである。プーチンは侵攻作戦を側近の連邦保安庁に作成させたが、侵攻告から10日以内にゼレンスキー政権を崩壊させて、傀儡政権を樹立するというものだった。侵攻は外務省にも秘匿され、ラブロフ外相はやっと侵攻前夜に知らされたという。プーチン国民の民意はバラバラだし、クリミアの時のようにと短期で勝負をつければ欧米の反応にも対処できるだろうと見ていた。

その結果、ロシアは侵攻作戦の当初の目的を達成できず、東部2州の一部を実効支配するに留まっている。著者は「働き方改革」について「松下幸之助こそが、まさに積極的に自分らしく働き、生きた先人」と、範とする。

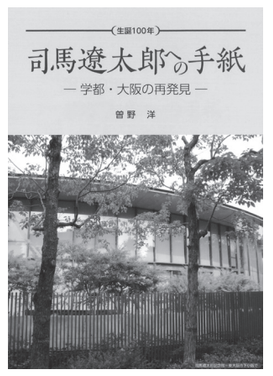
司馬が1985年（昭和60年）に高知で行った「坂本龍馬生誕150周年」講演で「紀州出身で竜馬が好きでたまらなかった」という陸奥宗光に紙幅を割き、福沢諭吉との交友関係に言及する…ここらで、お後がお楽しみとしたい。

小冊子ながら司馬遼太郎と福沢諭吉が濃密に語られている。世耕弘一、華岡青洲、緒方洪庵、大村益次郎、松下幸之助、陸奥宗光、浜口梧陵らが、ここに蘇った。新しい出会いや新発見でにぎやかな県人会になればより愉快な「学びと大阪の風景」の再発見になるだろう。司馬遼太郎ワールドで過ごしながら知的好奇心を刺激する好著である。（石河亮平）

新刊案内

生誕100年記念　四天王寺大学教授　曽野洋さん
「司馬遼太郎への手紙」出版

―学都・大阪の再発見―



ドニエプル出版
定価550円（税込み）

「坂の上の雲」はお好きですか。「昭和の国民作家」司馬遼太郎さん（1923年～96年）の生誕100年にあわせて行われた「好きな司馬作品」アンケートの1位は「坂の上の雲」、2位は「竜馬がゆく」、3位は「燃えよ剣」だった。全司馬作品の累計発行部数は、公益財団法人司馬遼太郎記念財団（東大阪市下小阪3）によると2億673万部だった。

「近世大坂にゆかりのある人物の実績」から「学都、大阪の風景が現代人に教示することは何か。この点について司馬遼太郎への手紙のつもりで論じたい」という著者。東大阪市は司馬遼太郎が暮らしたところであり近畿大学の本部があるところ。「その創始者・世耕弘一翁は非常に示唆に富む来歴を持つ人物だ」として紀州史を開く。

次いで、司馬遼太郎が講演録の中で「天才的な医学者」と評する紀州生まれの華岡青洲について語る。大坂の出張所「合水堂」にも全国から多くの患者や医学の私塾（春林軒）入塾希望者が訪ねてきて大繁盛した。世界初の全身麻酔手術に成功した華岡は徹底した秘密主義者だった。大坂では「華岡と緒方（洪庵）塾生は、水と油の関係」で、特に外科医を目指すならば華岡塾は暖かい布団の中や囲炉裏端で、固唾を飲んで待ちのぞむお話の幕が切って落とされたことを意味するのだ。「昔むかし」は、リアルな異界へ即座に跳びこめる、胸はずむ呪言である。

それによって川上から桃が流れてくる、どんぶらこと一童たちにはクライマックスの予感がするのだ。

ところが、我々にすれば、それはもはやただの出だしである。その「わくわく感」にしても、幾度も見聞きすると一種の「意味飽和」現象というのかしらん、慣れきってしまい、薬にしたくもないほどになってしまうのだろう。

（つづく）

俳論

①基本の「き」

「起」は、2つの役割を担うべきだろう。1つは幕開きから読者・視聴者をリアルさにいざなうことであり、もう1つはその行負）を学んだ。

本書の著者曽野洋さおこう。

起とは、いうまでもなく創作や論考の際、いまだに我々を縛りつづけている観のある「起承転結」の、それである。

そして、この臨場感は、状況の設定に過ぎないとか登場人物の紹介にとどまるといった単なる前説や助走とするような従前の観念にはそぐわない、背いている。

どういうことか。昔話を、振り返ってみよう。

我々大人は、その出だしを、童話のありふれた、聞きながしてしまうというのだ。それは「昔むかし」に濃く漂っている。

人文余聞

文筆家　木井昭一

「昔むかし、ある所に、お爺さんとお婆さんが住んでいました」

この前振りそのものてどうして、娯楽の乏しい往昔の子らにとっては『神々』。つまり、何か重大な事件が起きる信者がいた。感謝する者、アフィリエイトを貼り付けてリツイートする者、真面目に批判する者。

「預言アカウント」は意味のない文字列を自動生成するｂｏｔでしかない。父はそこに「ない」意味を見つけ出し、「教祖」となってしまった。そして、「預言アカウント」の投稿が無意味であればあるほど、父を含めた多くの「教祖」たちが生まれた。

私は、少し手を止めた後、「預言アカウント」がより無意味な投稿をするようにパラメータを変えた。

久しぶりに実家へ帰ると父が「目覚め」ていた。

「世界の『真実』を知っているか」と意味深に語りかけてきたので、一抹の不安を覚えながら耳を傾けた。「シオン賢者の議定書」「イルミナティ」「世界はＤＳに操られている」など、陳腐な陰謀論のことだった。

曖昧に相槌を打って切り上げ、父がトイレに行った隙にテレビでＹｏｕＴｕｂｅを起動した。やはり表示されたのは陰謀論を扱う動画ばかりだった。制限モードをオンにした。

※

「ミストラルの壁がスリーパイル語族の攻撃を受けている」「万トグガタを宇宙す。フリーノモスと宵にはまた結果、神々が米国と日本を勝利に導く！」「水から掏ル部』…た批判する者。

数日後、また実家へ帰った。父の陰謀論がユニークなものになっている。情報の仕入れ元を尋ねＤＳに操られているＹｏｕＴｕｂｅがダメになった（これも「裏政府」による情報統制らしい）ので、Ｔｗｉｔｔｅｒを見ていたら、「預言アカウント」にたどり着いたという。プーチン国民に政治家とオリガルヒと呼ばれる新興財閥との絡みが汚職の温床の1つとなってきたといえる。ゼレンスキーはどう捉えただろうか、革」について「松下幸之助こそが、まさに積極的に自分らしく働き、生きた先人」と、範とする。

司馬が1985年（昭和60年）に高知で行った「坂本龍馬生誕150周年」講演で「紀州出身で竜馬が好きでたまらなかった」という陸奥宗光に紙幅を割き、福沢諭吉との交友関係に言及する…ここらで、お後がお楽しみとしたい。

小冊子ながら司馬遼太郎と福沢諭吉が濃密に語られている。世耕弘一、華岡青洲、緒方洪庵、大村益次郎、松下幸之助、陸奥宗光、浜口梧陵らが、ここに蘇った。新しい出会いや新発見でにぎやかな県人会になればより愉快な「学びと大阪の風景」の再発見になるだろう。司馬遼太郎ワールドで過ごしながら知的好奇心を刺激する好著である。（石河亮平）

小説

目覚め

中森 臨時（北河内在住の小説家）

意味不明だ。父を見ると、目を見開き、瞳孔を細かく動かして読解を始めた。

「これはすごい、すごいぞ。『51の勝利』ォロワーが8千人を超えていた。

父は「預言アカウント」の投稿が無意味であればあるほど、父を含めた多くの「教祖」たちが生まれた。

私は、少し手を止めた後、「預言アカウント」がより無意味な投稿をするようにパラメータを変えた。

「これはすごい、すごいぞ。『51の勝利』ォロワーが8千人を超えていた。

父は「預言アカウント」の投稿が無意味であればあるほど、父を含めた多くの「教祖」たちが生まれた。

私は、少し手を止めた後、「預言アカウント」がより無意味な投稿をするようにパラメータを変えた。

「…西風篇悦の空に集う51の勝利。水から掏ル部に綴るアル産爾子、御殿と共にニューシデント』で『髪髪』ていた。

「持って帰って読まれよ」とすすめる時親に、

「ここに来て読む」と返す多聞丸。

岩湧山の麓が緋に染まりはじめている。

次々号（4月15日付）につづく

八尾柏原版
八尾柏原支社
八尾市山本町南６－２－29
TEL 072－926－5134
FAX 072－921－6893

トルコ・シリア大地震
緊急募金受付中
一般財団法人日本国際飢餓対策機構

私たちは宇宙の中で生かされている　銀河浴の世界

オーロラ＆樹氷写真展＋講演会

銀河浴写真家佐々木隆さん（71、八尾市在住）＝写真左＝のオーロラ＆樹氷写真展＋講演会が3月4日に八尾市本町1の多目的スペースｍｉｍｏｓａ（ミモザ）で開催された。会場には十数点に及ぶカナダ・ホワイトホースのオーロラ、日本・東北地方宮城蔵王を中心に見られる樹氷の写真が展示された。

講演会では、マイナス20℃を下回る極寒の地での撮影に挑戦したときのリアルな撮影体験話を交えながら、迫力あるオーロラの映像やスライド写真が紹介された。

樹氷は低温だけでは出来ないことや、水のもつ不思議な性質、日本をとりまく自然環境が大きく影響している　佐々木さんの言葉を聞いて、オーロラ写真や樹氷写真がただ美しいだけではないと記者もよく分かった。

オーロラのしくみや約20人の参加者は興味深く聞き入っていた。

大自然の壮大な美しい景色は、宇宙のしくみの絶妙なバランスで表現されており、「厳しさの中で美しさが生まれる」という佐々木さんの言葉を聞いて、「自分自身が宇宙でもある」と佐々木さんは力説した。

（渡辺彩智子）

第61回事業者・消費者・行政のつどい
3年ぶりに開催

第61回事業者・消費者・行政のつどいが2月22日に八尾市立くらし学習館（八尾市本町3）で開催された。主催は八尾市女性団体連合会、八尾市消費者問題研究会、八尾市食生活改善推進協議会、ＮＰＯ法人関西消費者連合会、主婦連合会大阪支部の5団体。

開会にあたり主催者の角田禮子八尾市消費者研究会会長（写真中央）が、3年ぶりに開催できたことに喜びとお礼の気持ちを挨拶で述べた。

この日は、休みなく継続してきた研究や活動の結果が報告された。

（植村眞一）

EXPO酒場に120人集う
大阪・関西万博を勝手に盛り上げて
勝手に楽しみたい人たちが集う拠点
自治体で唯一、大阪パビリオンに出展が決まった八尾市

万博を勝手に盛り上げ、勝手に楽しもうと意気込みを誓う参加者たち

ラスト大盛り上がりをみせた「みせるバンド」

EXPO酒場が2月28日に、みせるばやお（八尾市光町2－60、リノアス8F）で開催され、約120人が集まった。

EXPO2025年に開催する大阪・関西万博を勝手に盛り上げて勝手に楽しみたい人たちが集う拠点。自治体で唯一、大阪パビリオンに出展が決まった八尾市で開催が叶った。

店長には松尾泰貴氏（株式会社友安製作所統括）、女将には高島小百合氏（株式会社タカヨシジャパン）、副店長には岡本栄理氏（株式会社オカムラ）、小島和人ハモニズム氏（株式会社ロフトワーク）、長尾あみり氏（株式会社アド近鉄）、菊地凌輔氏（株式会社マクアケ）が就任。ものづくりのまちとしてオープンファクトリー「FactorISM」を開催するなど、独自の盛り上がりをみせる魅力的な八尾のまちで、未来を語るアツい時間となった。

盛り上げたいと願う人びとが出会い、新たな活動が生まれていくという好循環を、全国にまで広げることを目標の1つに掲げているとのこと。

共創チャレンジのFactorISMとdemo!expoが強力なタッグを組んだ今回のEXPO酒場八尾店は、EXPOを勝手に盛り上げようというアーティスト、まちこうば、銀行、行政、大企業、学生あわせて120人ほどが集った。なかには兵庫、京都、滋賀、奈良などからかけつけた人たちも。追加分のチケットもすぐに売れ切れるほどの人気ぶりだった。

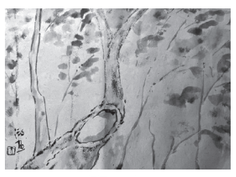
閉店直前には「みせるバンド」のライブもあり、参加者もこぶしを振り上げて応援したりして、会場は熱気に包まれた。

楽しそうな参加者を見守りながら松尾泰貴店長は「またここから、今から、オモロいことが広がっていく可能性しかない!!」と熱く語った。

（北方円）

荘子と語る　三十二

大阪府立大学名誉教授
立命館大学教授
大形　徹



筆者作

「おまえは風がヒューヒューと吹くのを聞いたことがあるだろう。山林が風にあおられてざわざわするとき、大木の百囲えもある竅や穴は、鼻に似ていたり、口に似ていたり、耳に似ていたり、升に似ていたり、杯に似ていたり、臼に似ていたり、くぼみに似ていたり、溝に似ていたり、吸うようなもの、叫ぶようなもの、泣きわめくようなもの、深い谷底に鳴りひびくようなもの、咬むようなものなどがある。

真宰　その二

先に風が吹き込んだものが、『ヒュー』と唱えれば、後にしたがうものは、『ゴオーッ』と唱える。

冷たい風には、小さくあわせ、つむじ風には大きくあわせる。ところが激しい風が吹きやめば、もろもろの竅や穴はただの虚ろな空間となるのだ。おまえは、ひとり、山や谷の木々がゆらゆらとまたゆさゆさと揺れ動くのを見たことがないのか」

子游は言った。

「今、おっしゃられたのは地籟でありましょうが、地籟とはよろずの竅や穴をいうのでございましょう。

人籟というのは、人の口から吹き出された息が管の穴に吹き込まれて音を発する比竹すなわち竹などの管でできた楽器をいうのでございましょう」

※地籟と人籟の説明。籟は3つの孔のある龠。風や息などが穴と反応して音が鳴る。

その不思議を興味深く、丹念に描写する。しかし、荘子の関心は次回の天籟にある。

近鉄文化サロン上本町で「荘子を読む」開講中

独裁国家の脅威に警鐘
長尾たかし前衆議院議員

3月3日、長尾たかしが凶弾に倒れるという前衆議院議員後援会が主催する「長尾たかし君と日本の未来を創る会」が、シェラトン都ホテル大阪（大阪市天王寺区上本町6）で開かれ、約300人の支援者が集うなか、萩生田光一自民党政調会長が講演した。その後、4月の統一地方選挙に臨む自民党候補者らの「お披露目」が行われた。

2025年 参議院全国区比例に向けて

2021年10月31日の第49回衆議院選挙惜敗、翌年7月8日に師と仰ぐ安倍晋三元首相が凶弾に倒れるという苦難のなか、著書「永田町中国代理人」を始めとした執筆活動や、「長尾たかし爆裂トークライブ」など講演活動、日々更新される動画などで、ロシアによるウクライナ侵攻で現実味を帯びた独裁国家の脅威を訴え、ときに不足で多くの「風呂難民」が発生した事象を受け、人材しか資源のない日本における技術開発の重要性について述べ、ともに経済安全保障でタッグを組む長尾氏の早期国会復帰を切望。

支援者らを前に長尾氏は、2025年7月28日投開票の第27回参議院議員選挙に全国区比例で出馬することを正式に表明し、後継の衆議院大阪第14区から出馬予定の塩川のりふみ大阪府議会議員を扱ち、北朝鮮による拉致事件や中国による領海侵犯で共闘する「安倍イズム」の同志・萩生田光一政調会長が「新しい資本主義」と題して講演。野口英世、北里柴三郎の時代から感染症対策の先頭を走ってきた日本が新型コロナウイルス感染予防でリーダーシップを発揮できず、サプライチェーンの崩壊でマスクや注射器の確保に手間取った事例や、ロシアによるウクライナ侵攻の影響による半導体不足で多くの「風呂難民」が発生した事象を受け、人材しか資源のない日本における技術開発の重要性について述べ、ともに経済安全保障でタッグを組む長尾氏の早期国会復帰を切望。

研究開発の重要性について述べ、ともに経済安全保障でタッグを組む長尾氏の早期国会復帰を切望。

しかし、荘子の関心は次回の天籟にある。

支援者らを前に長尾氏は、2025年7月に注目が集まる。

（池内文藏）

連載小説
ウクライナを歩く　216
小野元裕

英雄となった男

体じゅうが痒くて目が覚めた。掻きむしるが、どうにも止まらない。

自分でも気付いていなかったが、かなりのストレスが体にのしかかっているのだろう。その証拠が原因不明のこの痒さだ。

そういえば、まだ学生の頃に同じようなことがあった。朝晩の新聞配達と学業の両立が難しく、それに加え母が入院したため看病にも時間が割かれた。コップの水が溢れるがごとく、体に異変が起こった。

当時は若さで乗り越えることができ湿疹も治ったが、今はどうなることか不安ばかりが頭を占める。

就寝前に激しすぎる動画を見たのがよくなかった。

森の中で疲れ果てた老兵がタバコをくわえて立っている。追い詰められたのだろう、諦念の表情でこちらを見ている。しかし、眼光だけは鋭い。カメラの手前で何やら声がする。男はタバコをふかし「ウクライナに栄光を」と言い捨てる。その途端、銃声が鳴り、四方八方から男を撃ちまくる。頭が破裂し、崩れ落ちる。亡き骸に向かって銃弾が飛び続け止まない。

友人からSNSで送られてきた動画を何気なくクリックするや否やこの動画が目に突き刺さった。初めは何が起こるのかさえ分からず、ぼんやり眺めていた。ところが、いきなり銃弾が男を目掛けて飛びまくる。驚きで瞳孔がカッと開いた。

余りにもおぞましい出来事にすぐには受け入れることができず、繰り返し見る。やるせない怒りの感情が込み上げてきた。そのうち男の家族に思いを馳せ、悲しさに胸がつぶれそうになる。

戦争は綺麗事ではない。しかし、このやり方は酷すぎる。

動画は拡散され、男は一躍ウクライナ人の間で英雄となった。男をモチーフにしたアート作品が次から次へと生まれている。

命は大切であることは言うまでもない。しかし、命よりも大切なものがこの世には確かに存在する。

大声でつぶやく　17
けったいな町医者
長尾クリニック名誉院長・医学博士　**長尾和宏**

認知症は予防と共生

高齢ドライバーによる交通事故が多発している。歩行や自転車の事故や転倒も確実に増えている。この3年間で認知症が増えているなと感じる。認知症が増えている要因はいくつか考えられる。①高齢化進行と寿命延長に伴う自然増、②コロナ自粛の影響、③コロナ後遺症、④ワクチンの頻回接種。個人的には、④が主因で②がその次だと思っている。しかし、この分析は誰がやっても極めて困難だろう。

超過死亡の分析よりはるかに難しい。

海外ではヤコブ病の増加が常識になってきた。しかし、日本の医者はただ笑うだけで現実を見ようとしない。僕が心配しているのは緩徐進行型の認知症だ。アルツ＋プリオン病の混合型で数年かけて進行するタイプ。特に第3の認知症と言われる前頭側頭型認知症の増加も危惧している。

ハリウッドスターであるブルース・ウィリスはこのタイプだ。いずれにせよ認知症は予防と共生の時代である。予防とは食事と運動と睡眠の生活習慣。そして前段階（MCI）で診断して介入することが重要だ。抗認知症薬は原則使わない。使うとしたらプレタール。薬物介入には、いろいろなサプリメントが有用だ。当院ではフェルガード、Mガード、プロルベイン、さまざまりん、タキシフォリンなどをお勧めしている（自分で買ってもらう）。Mとはミエリン（神経の鞘）のM。治療戦略はアミロイド仮説からミエリン仮説に移りつつある。みかんの皮で認知症を予防できたらいい。なによりも安全だ。コロナ前からミエリン研究所が設立されて研究成果が出ている。

実は僕もMガードを持っているので時々飲んでいる。

2022年八尾市文化賞受賞
トク・ハルアキ
徳治昭童画展　ほっこりワールド　プラス　ウルトラ怪獣童画化計画
2023年3月25日（土）～4月2日（日）
開催時間　11：00～18：00
ULTRAMAN NEW GENERATION THE LIVE ウルトラマンデッカー編 STAGE5 in 大阪の開催に合わせて、地元八尾の童画家・徳治昭氏の童画展を開催いたします！
■会場　プリズムホール（八尾市文化会館）1階　光のプラザ
（近鉄大阪線八尾駅下車東へ徒歩5分、大阪府八尾市光町2-40　（月曜休館）
■入場料　無料
■お問合せ　徳治昭童画館　090-8386-2447　https://dougakan.net/
PRISM HALL 八尾市文化会館　チケットのお求めお問い合わせ
プリズムホールチケットカウンター ☎ 072-924-9999
プリズムホールウェブサイトチケット　http://prismhall.jp/
※中学生以下のお子様のご入場はご遠慮願います　※車椅子でお越しの方は事前にご連絡をお願いします

アクリル加工の職人集団
共栄化学工業 株式会社
TEL 072-922-1681 FAX 072-923-4879
〒581-0812 大阪府八尾市山賀町 4-63　http://kyoeikagaku.com
設備概要：加熱炉：加工最大サイズ 2400×1800ミリ
曲げ厚み限度：ポリカーボネート10ミリ、アクリル30ミリ
レーザー加工機：加工最大サイズ2000×1500ミリ
カット厚み限度：アクリル20ミリ
創業70周年を記念して
YouTubeチャンネルを開設しました！
【アクリル伴ちゃんねる】
お祭り好き工場長による、アクリルのタメになる情報を毎週お届け！
水曜17時
YouTube

〈経済産業省・環境省〉
「先進的窓リノベ事業」
（住宅の断熱性能向上のための先進的設備導入促進事業等）
窓の高断熱化リフォームで
最大200万円
窓際が寒い！　寒くなると光熱費が高い
部屋が暖まらない　ジメジメ結露
それ、窓が原因かも!?
今お住いの、住宅の窓の高断熱化リフォームの費用に使える
とってもおトクな補助金をもらえますよ！
【お問い合わせ】八尾トーヨー住器株式会社 そぷら
八尾市恩智南町2丁目6番地　フリーコール：0800-100-7707
すべてはお客様のために YAO TOYO JUKI 八尾トーヨー住器
sopra home creation